都市デザインの推進について

オークス通りクスノキ群の景観重要樹木指定に向けた取り組み

1．これまでの動き

・令和３年第４回定例会において、「オークス通りクスノキ群の景観重要樹木※１指定を具体的に進める」旨を報告。
・令和３年１１月の景観審議会での意見を受け、健全度を正確に把握するため令和４年１月に全１６本の詳細調査を実施した。
　下表のとおり、樹木医の総合的な所見より１本は樹勢の回復が難しいことから、残り１５本を景観重要樹木に指定したい。

2．詳細調査の結果及び関係者意見交換内容

・詳細調査結果を地元関係者や第一高校等※２へ説明し意見交換を実施。概要は下表の通り。

※１：地域に愛されランドマークとなっているなど、地域の良好な景観を形成している樹木を景観法にもとづき指定する制度。
※２：㈱オークス熊本、長崎書店、第一高校同窓会、第一高校、上通商栄会、城東校区４町内自治会長、上通3・4丁目商店街振興組合理事長

樹木No	前面建物	腐朽空洞率(地上3cm)
1～5	ホテルオークス	0～12%
6	ホテルオークス	53.1%
7	ホテルオークス	65.1%
8～9	ホテルオークス	0.6～9%
10～12	マンション建設地	5～30%
13～16	長崎書店	0.03～40%

２名の樹木医による所見	
No6について(幹周306cm)	・大径のクスノキ倒木は稀。 ・空洞率53%だが、周辺の健全材の厚さが確保されている。(12～74cm) ☞**安全管理を徹底しながら経過観察。**
No7について(幹周150cm)	・腐朽空洞率が高く、健全材厚さが全体的に薄い。(3～11cm) ・根株の腐朽が進行していると考えられる。 ☞**樹勢の回復は難しい。**

	意見	対応
詳細調査結果について	回復が困難な樹は危険性を考えると伐採もやむを得ない。	―
詳細調査結果について	鉄骨で支えるなど、補強することは出来ないか。	樹木医の所見により樹勢回復が難しいことや、景観影響においても適切ではない。また、狭い歩道、近接建物への影響からも現実的ではない。
クスノキの活用について	樹勢回復が困難な楠を使って第一高校と協力した取組みなどは考えられないか。	第一高校での再植樹など、関係者の意見を聴きながら検討したい。
クスノキの活用について	**ぜひ第一高校での再植樹等の取組みに協力したい。** (第一高校同窓会・第一高校)	具体的な手法等、一緒に検討させていただきたい。



オークス通りクスノキの状況
（ホテルオークス前）

3．今後の対応

・当該クスノキ群の管理計画等も含め樹木医等の専門家の意見を聴き、景観審議会で議論し、今年度内の指定を目指す。
・樹勢の回復が難しい１本の樹木については、年内を目処に伐採を検討するとともに、再生や再利用についても、地元関係者や議会、景観審議会等の意見を聴きながら進める。

4．スケジュール

令和４年度						
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理計画検討、関係者意見交換、再植樹・利活用方針検討等						指定
進捗報告	景観審議会		進捗報告	景観審議会		景観審議会 進捗報告